

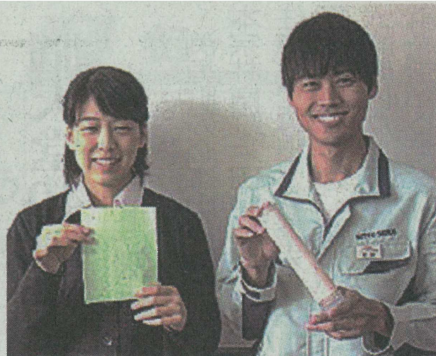
平成28年(2016年)11月4日

あやべ市民新聞(4面)に掲載されました

ねじ万華鏡できました

若手社員が発想

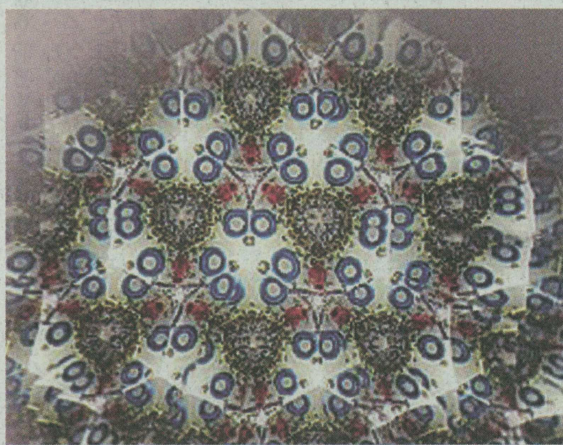
日東精工



開発に携わった梅原さん(左)と稲葉さん。写真はいずれも日東精工提供

日東精工(本社・井倉町、材木正己社長)は、「京都万華鏡ミュージアム」(京都市中京区)が製作・販売する「万華鏡手作りキット」への素材提供という形で、「ねじ万華鏡」の商品化に一役買った。若

手社員の柔軟な発想力から生まれたもので、町のあやべ特産館など



同社の精密ねじと樹脂カラーリベットなどを使い幻想的な世界が広がる「ねじ万華鏡」

京都万華鏡ミュージアムに素材提供

で販売されている。入社2年目で同社経営企画課の梅原さつきさん(24)は、休日に同ミュージアムを訪れ、万華鏡キットを購入。『ビーズを日東精工のねじに換えたら面白いのでは』と思い、上司に相談して同ミュージアムに企画を持ち



あやべ特産館でも販売されている「ねじ万華鏡手作りキット」

込んだ。精密ねじの選定や、仕上げ用としてキットに同封する黒谷和紙のアイデアには、今年入社した同課の稲葉紘平さん(22)も加わり、「ねじ万華鏡」が実現した。キットには「ねじの大切さを説明する小冊子」も入っている。価格は500円(税別)。数量限定で在庫がなくなり次第、販売終了となる。

【四方憲生】